

本技術は、支承の機能の回復を狙った現場施工型防錆工法です。従来の塗装による防錆工法に比べて、高機能で耐久性に優れた工法です。

本技術の特徴

- ① エポキシ系封孔処理剤で封孔処理後に、浸透性エポキシ樹脂で保護塗装を行うため、抜群の防錆効果を発揮。
- ② 亜鉛及び亜鉛アルミの溶射膜は、鉄材に対して電氣的に卑なる金属で、犠牲陽極的な働きにより積極的な防錆作用を発揮。
- ③ ローラー部については「グリスアップ工法」も併せて施工可能。

1

支承のスベリ面へ潤滑性防錆剤注入
(二硫化モリブデン溶液)

2

支承全面へブラスト処理

3

ブラスト後直ちに金属溶射
亜鉛アルミニウム合金線 / アルミマグネシウム合金線

4

封孔処理後に保護塗装



BP・A (ベアリングプレート)



グリスアップ工法 (ローラー部)